科目名	保健	単位数	1単位	実施予定授業数	35時間

☆学習の到達目標

学習の 到達目標	保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 （1）個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、健康・安全に生活していく技能を身に付けるようにする。 **【知識・技能】** （2）健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。 **【思考力・判断力・表現力】** （3）生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。 **【主体的に学習に取り組む態度】**
使用教科書・ 副教材　等	教科書　「現代高等保健体育」　大修館書店 問題集　「現代高等学校保健体育ノート」　大修館書店

☆学習計画および評価方法

学期	学習内容	月	学　習　の　ね　ら　い（評価規準）	時数
第1学期	導入「保健」の学習について ・全身の骨と筋肉 **1単元「現代社会と健康」** 1.健康の考え方と成り立ち 2.私たちの健康のすがた 3.生活習慣病の予防と回復 4.がんの原因と予防 5.がんの治療と回復 6.運動と健康 7.食事と健康	4 5 6	学習方法、ノートの取り方、探究活動の進め方、課題、座席等についての指導。 **1単元「現代社会と健康」** 現代社会と健康について、自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けている。 ア 日常の生活行動と健康との関係について理解している。 **【知識・技能】** イ 病気の予防と回復について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。**【思考力・判断力・表現力】** ウ 健康の考え方について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。**【主体的に学習に取り組む態度】**	11
	【知識・技能】 ○定期テスト（80%）　○課題・授業プリント（20%）			
	【思考・判断・表現】 ○保健ノート（50%）　○グループワーク（30%）　○質問や発表の内容の聞き取り（20%）			
	【主体的に学習に取り組む態度】 ○授業への主体的参加（70%）○グループワークの相互評価（30%）			
	【1学期の評価方法】 「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に取り組む態度」をそれぞれ数値化し、各観点を60%：20%：20%の割合で総括し、10段階評定とする。			

学期	学習内容	月	学　習　の　ね　ら　い（評価規準）	時数
第2学期	8.休養・睡眠と健康 9.喫煙と健康 10.飲酒と健康 11.薬物乱用と健康 12.精神疾患の特徴 13.精神疾患の予防 14.精神疾患からの回復 15.現代の感染症 16.感染症の予防 17.性感染症・エイズとその予防	7 8 9 10 11	**１単元「現代社会と健康」** 現代社会と健康について、自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けている。 ア 日常の生活行動と健康との関係について理解している。**【知識・技能】** イ 病気の予防と回復について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。**【思考力・判断力・表現力】** ウ 健康の考え方について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。**【主体的に学習に取り組む態度】**	14
	【知識・技能】 １学期と同様			
	【思考・判断・表現】 １学期と同様			
	【主体的に学習に取り組む態度】 １学期と同様			
	【２学期の評価方法】 １学期と同様			

学期	学習内容	月	学　習　の　ね　ら　い（評価規準）	時数
3学期	18.健康に関する意思決定・行動選択 19.健康に関する環境づくり **２単元「安全な社会生活」** 1.事故の現状と発生要因 2.安全な社会の形成 3.交通における安全 4.応急手当の意義とその基本 5.日常的な応急手当 6.心肺蘇生法	12 1 2	**２単元「安全な社会生活」** 安全な社会生活において、自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けている。 ア 安全のために必要な個人の取組や行動について、理解している。**【知識・技能】** イ 安全な社会づくりや応急手当について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。**【思考力・判断力・表現力】** ウ 安全な社会づくりや応急手当について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。**【主体的に学習に取り組む態度】**	10
	【知識・技能】 １学期と同様			
	【思考・判断・表現】 １学期と同様			
	【主体的に学習に取り組む態度】 １学期と同様			
	【３学期の評価方法】 １学期と同様			

【年間の学習状況の評価方法】

各学期の「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に取り組む態度」をそれぞれ総括し、年間の５段階評定とする。